

特集 ESG、SDGsへの取り組み

未来へつなぐ

～人と環境と社会のために 東洋電機製造ができること～

パンタグラフ、歯車装置などの電機品で鉄道インフラの安全を支える「交通事業」
自動車開発、加工設備、発電インフラ向けの電機品で人々の生活や省エネルギーに役立つ「産業事業」
駅や車掌用の端末、遠隔設備の監視制御など、ネットワークで仕事を快適に見守る「情報機器事業」
東洋電機製造は3つの事業で、環境や社会（ESG）に役立つ「ものづくり」をしています。
これまで蓄積された技術力と経験をさらに活かして、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

Environment →14ページへ

- 環境貢献活動（環境理念・行動指針）
- 環境マネジメントの推進

Social →16ページへ

- 各ステークホルダーへの取り組み
- 働きやすい職場環境づくり

Governance →21ページへ

- コーポレート・ガバナンス

東洋電機製造は、事業活動そのものが環境や社会インフラと深く関わっており、「環境技術」と「IT技術」を融合させた製品とシステムで、安全・安心な社会のインフラ整備と持続的な発展に貢献しています。具体的にはSDGsのうち、

- 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 13 気候変動に具体的な対策を

の目標に対し、省エネ製品の普及に努力しています。



取り組み事例

鉄道の省エネ化

当社は世界の鉄道に様々な車両用電機品を納入し、その発展を支えてきました。近年の採用例としては、京成電鉄3100形新型車両向けに、「SiC素子を使用したVVVFインバータ」「高効率全閉型モータ」を納入。消費エネルギーは従来型システムより約18%減少し省エネ化を実現しています。



EDモータとインテリジェントインバータによる省エネ化

当社の永久磁石型同期モータ「EDモータ（Eco-Drive Motor）」とインテリジェントインバータは、国内外の多くの生産・加工設備用システムに採用され、省エネ化を実現しています。



社内啓蒙活動

SDGsに関する認知度・知識向上を図り、事業を通じたSDGsへの取り組みを社員自ら考えてもらうために、社内報などでの啓蒙活動を推進しています。



特集

中稀東洋永磁電機有限公司 工場開所式



開所式の様子



工場内観

当社は2019年6月、中華人民共和国（以下「中国」）江蘇省常熟市に産業用永久磁石型同期モータの製造と販売を主業務とする合併会社「中稀東洋永磁電機有限公司」を設立し、工場の稼働に向けて準備を進めてまいりましたが、この度準備が整い2020年9月10日に開所式を執り行いました。

開所式には、合併先各社、常熟市政府高官、取引先各社、現地メディアほか多数の来賓が出席され、盛大に執り行われました。

当社は今後も卓越したモータドライブ技術を活かし、グローバルな事業展開を通じて、地球環境にやさしい社会インフラシステムの実現に貢献してまいります。

中稀東洋永磁電機有限公司設立の経緯

中稀東洋永磁電機有限公司は、中国鋁業集团有限公司（略称：中鋁集団/CHINALCO）傘下のレアアース製造会社である中国稀有稀土股份有限公司、商社である北京鈴洋科貿有限公司および当社の共同出資により、当社における産業事業初の海外製造拠点として、生産・加工設備向けの高効率な永久磁石型同期モータを製造し、中国・ASEAN市場における省エネニーズの取り込みを図ることを目的に設立されました。



工場の概要

所在地	江蘇省常熟市高新技術産業開發區 東南大道1150号嘉地（常熟） 國際産業園G座
敷地面積	約20,000㎡
従業員数	42名
生産品目	産業用永久磁石型同期モータ
製品用途	各種工場ライン、各種加工機、 印刷機、圧縮機、ポンプ向けなど
生産能力	2021年度の生産台数5,000台を目標